

科目名	大阪の自然	単位数	2	授業形態	講義	担当 教員	三田村 宗樹 (理) 他
英語表記	Natural History in and around Osaka Plain						

● 科目の主題

大阪およびその周辺に広がる現在の自然環境は、地球の歴史的変遷の結果として成立したものである。私たちが生活している大阪平野は、もっとも新しい地質時代の新生代第四紀(260 万年前から現在まで)に形成されてきた。したがって、第四紀は現在の自然を知るうえで重要である。とくに平野やその周辺を構成する各種の地盤は人間生活や災害にも密接に関係している。このような環境は、大阪にとどまらず、日本各地の海岸平野に立地する大都市周辺にも共通した状況でもある。

この授業では、大阪平野とそれを取りまく地域の地形・地質の形成史や植生変遷について解説し、われわれの生活との関係について考える。

● 授業の到達目標

大阪の立地する大阪平野の形成史や自然環境の変遷の理解をつうじて、現在の都市大阪とその周辺の自然の位置づけや地盤災害との関係についての素養を深める。

● 授業内容・授業計画

- 1.大阪平野とその周辺の地形配置および構成地質とその変遷(三田村担当)
 - (1)地形配置とそれを構成する地質の特徴 (1 回)
 - (2)丘陵の地質 丘陵地を構成する地層とその成り立ちと第四紀の自然環境の変遷 (3 回)
 - (3)平野の地質 縄文海進と平野の形成史 (2 回)
 - (4)地盤災害に関係する平野の地層の特性 (2 回)
 - (5)山地と低地間に介在する活断層と地震 (2 回)
- 2.大阪周辺の森林植生とその変遷史(塚腰実担当)
 - (1)化石植物群:メタセコイア化石植物群,第四紀化石植物群の特徴、古気候の変遷と古植生 (3 回)。
 - (2)現在の森林植生:植生の類型区分と分布、植生の遷移と二次林、人工林、人類が与えた植生への影響 (2 回)。

● 事前・事後学習の内容

月に1~2回程度、大阪周辺の博物館・植物園を訪れ、授業に関する事前学習を行う。博物館や植物園での事前学習の内容については、事前に指示し、その理解については、4~5回行う小テストで確認する。

● 評価方法

事前学習に関わる小テスト(50 点)と期末試験(50 点)で評価する。

● 受講生へのコメント

講義は地学分野からみた「大阪の自然」が中心であるが、地学の基本的な考え方も含めて授業を行うので、高校での地学の履修の有無を問わない。

● 教材

主な参考書: 地学団体研究会大阪支部編『関西自然史ハイキング』創元社、同『大地のおいたち』築地書館、梶山・市原著『大阪平野のおいたち』青木書店)、大阪市立自然史博物館展示解説第13集『ネイチャースクエア 大阪の自然誌』、大阪市立自然史博物館特別展解説書『氷河時代』。